

将来の活動について

本断層帯の全線が一度に活動すると仮定した場合、地震の規模は、断層帯の全長(50km)から経験式によりマグニチュード7.7と算出されます。ただし、断層の北部と南部とは別の断層である可能性があり、この場合、想定される地震の規模はこれより小さくなります。

この規模の地震の発生に関しては、断層の活動間隔が約6000年～約8000年であり、最新活動時期が約950年前～約2000年前の間であることから、次の地震が差し迫っている可能性は低いと考えられます。

